

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年03月17日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2026年1月10日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	デンマーク
留学先大学	コペンハーゲン大学(日本語名) Københavns Universitet(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	デンマーク語/英語
留学期間	2025年8月～2026年1月
留学先大学で在籍した学年	?(特に学年という縛りはなかった)年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 人文学部 現地言語での名称: Faculty of Humanities <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬～7月下旬 2学期: 9月中旬～2月上旬	1学期: 2学期: 8月下旬～12月中旬 3学期: 4学期:
学生数	36,760人
創立年	1479年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (デンマーク・クローネ) (1 現地通貨 = 24 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	協定留学のため無し
宿舍費	36,107	866,568 円	8000DKK はデポジットとして契約終了後返金(A.B はデポジットを含まない)
食費	6,327	151,848 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	215	5,156 円	
現地交通費	1,491	35,801 円	3 ヶ月分自転車レンタルの契約を結んだが、11・12 月はメロの定期(595DKK)を購入した(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	4,166	約 100,000 円	
旅費(留学中)	25,000	約 600,000 円	7 か国旅行した際の渡航費+食費等
被服費	199	4,828 円	ピラティス用に服を買った
医療費	0	0 円	
保険費	2,348	56,350 円	形態: 海外旅行保険
渡航旅費	10,375	248,990 円	
ビザ申請費	2,687	64,500(2500DKK+4500)円	
雑費	0	0 円	
その他	1300	31,200 円	ピラティス入会費
その他	0	0 円	
合計 ※現地通貨 および 円	90,218DKK (=2,165,241 円)	2,165,241 円	
総計(A+B) ※円		円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

気を付けるに越したことはありませんが、個人的にコペンハーゲンで危険を感じた経験はありません。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題はありませんでした。日本と同じように利用できます。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードのみを利用しました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

コンソメ、塩コショウなどの調味料系

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
22.5ECTS/単位		<input checked="" type="checkbox"/> 未定単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Course in Danish Culture 1		デンマークの文化
科目設置学部・研究科	人文学部	
履修期間	2025 年度秋学期	
単位数	7.5ECTS	
本学での単位認定状況	未定 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Peter Edelberg	
授業内容	デンマークの歴史・文化について学ぶ	
試験・課題等	80%以上の出席	
感想を自由記入	デンマークの歴史や文学、音楽を通して文化を幅広く学べる授業です。毎回その分野の専門の先生が担当し、多角的に理解を深められます。講義に加えてフィールドワークもあり、実際に体験しながら学べる点がおすすです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Danish Architecture and Urban Design	デンマーク建築と都市デザイン
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	2025 年度秋学期
単位数	15ECTS
本学での単位認定状況	未定 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Andreas Holm Hammershøj
授業内容	デンマークならではの建築や都市デザインについて学ぶ
試験 課題等	中間課題:最終課題の概要を 2.3 ページにまとめる。 最終課題:テーマは自由で、11-15 ページにまとめる。
感想を自由記入	デンマークの建築や都市デザインを、時代の流れとともに学べる講義です。人間中心・生活中心の考え方や持続可能性について、講義だけでなく、フィールドワークを通して実感しながら理解できることが魅力です。



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	TOEFL 受験、留学選考に参加
留学開始年	1月～3月	コペンハーゲン大学に出願
	4月～7月	入学許可、ビザ申請、寮の予約、TOEIC 受験
	8月～9月	留学開始、8月中-プレセメスター、9月-秋学期開始
	10月～12月	中間課題
留学/帰国年	1月～3月	最終課題提出、帰国、就活開始
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	



留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

これから留学を志す方にとって、留学先の選択は大きな決断だと思います。私がデンマークを選んだ理由は、持続可能な社会や福祉国家としての先進的な取り組みを実際に現地で学びたいと考えたからです。特に、制度や環境だけでなく、人々の暮らしや価値観にまで踏み込んだ社会デザインに関心があり、それを多角的に学べる環境に魅力を感じました。

留学生活において大切だと感じたのは、「目的意識を持ち続けること」と「主体的に行動すること」です。異国での生活は新鮮で刺激的ですが、環境に流されてしまうと学びが浅くなってしまいます。私は、授業で得た知識をそのままにせず、自分の言葉で整理し、アウトプットすることを意識しました。その結果、学びがより深まり、自分の問題意識と結びつけて考えられるようになりました。また、多国籍の学生とのディスカッションでは、自分の考えを伝えるだけでなく、相手の背景や価値観を理解する姿勢が重要だと実感しました。最初は語学面で苦勞することもあります。完璧を求めるのではなく、「伝えようとする姿勢」が信頼関係につながります。この経験は、異文化理解だけでなく、今後の人との関わり方にも活かすことが可能だと考えています。

生活面では日本との違いに戸惑うこともありますが、それも含めて貴重な学びです。特にデンマークでは、日照時間や気候の影響もあるため、自分なりにリフレッシュ方法や生活リズムを整える工夫が大切になります。

最後に、留学は「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」が問われる経験です。自分なりの問いを持ち続け、積極的に行動することで、得られるものは大きく変わります。ぜひ、自分の興味や関心を大切にしながら、主体的な留学生活を送ってください。この経験は、今後の学びやキャリアにおいて必ず大きな財産になると思います。